

## 平成25年8月 マンスリー レポート

集計企業数 **60** 社

### ① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	52,633,505 万円	100.0%	102.2% (101.3%)	50,983,247 万円	100.4% (99.8%)
食 料 品	44,317,153 万円	84.2% (83.4%)	102.6% (102.0%)	42,819,740 万円	100.5% (100.0%)
農 産	6,651,525 万円	12.6% (12.1%)	105.8% (104.8%)	6,461,605 万円	103.7% (103.0%)
水 産	4,214,175 万円	8.0% (8.3%)	102.5% (101.9%)	4,055,415 万円	100.2% (99.7%)
畜 産	4,858,778 万円	9.2% (9.2%)	104.9% (103.5%)	4,703,115 万円	102.6% (101.2%)
惣 菜	4,942,003 万円	9.4% (8.8%)	102.9% (103.3%)	4,758,058 万円	100.4% (100.9%)
日配食品	9,815,008 万円	18.7% (18.8%)	101.8% (101.3%)	9,468,006 万円	99.8% (99.4%)
加工食品	13,835,664 万円	26.3% (26.2%)	100.9% (100.3%)	13,373,541 万円	98.9% (98.6%)
生活関連	3,186,249 万円	6.0% (6.2%)	98.8% (98.8%)	3,119,409 万円	98.3% (98.2%)
衣 料 品	1,451,781 万円	2.8% (3.3%)	95.9% (94.0%)	1,430,704 万円	96.0% (94.2%)
そ の 他	3,678,322 万円	7.0% (7.1%)	102.6% (99.6%)	3,613,394 万円	102.7% (100.5%)

### ② 数 値

全店総売上高	52,633,505 万円	店 舗 数	4,419 店舗
総売場面積	8,558,856.1 m <sup>2</sup>	総従業員数	229,445 人

店舗平均月商	11,910.7 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,803 円 (100.8%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	6.1 万円 (6.0 万円)	平均店舗面積	1,936.8 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	20.3 万円 (19.7 万円)	パート比率(前月)	77.4% (77.0%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・ 8月通して、猛暑、局部的豪雨、渇水など異常気象に見舞われた月だった
- ・ 8月の曜日偏差は、水曜日が1日少なく、土曜日が1日多かったため、既存店前年昨比がプラスで終了した
- ・ 上旬の猛暑の影響で、昼間の客数が減少するも涼味商材（アイス、飲料、乳飲料、そうめん、つゆ など）やサラダ商材の動向が良かった

## 《 商品動向 》

### ○ 農産

- ・ 野菜は、猛暑、干ばつ、豪雨の影響を受け、相場が上昇するもサラダ関連（きゅうり、トマト、レタス、大根 など）を中心に動向は良かった。反面、火を使う商材などは鈍かった
- ・ 果物では、高温が続いた影響もあり、もも、ぶどう、なしなどの糖度は高く、食味良好となり動向が良かった
- ・ スイカは8月を通して良く動いた。中でもお盆期間中は特に動いた

### ○ 水産

- ・ 二の丑の日を中心に動向が良かった国産うなぎは、8月通して好調に推移した
- ・ 海水温の上昇による水揚げ遅れおよび燃料費高騰の影響を受け、漁が不安定のため「新物さんま」の入荷量が減り前年比を大幅に下回った
- ・ エビ、サーモンなどは、相場の上昇により苦戦した
- ・ 塩干では、原料相場高騰により魚卵、干物の動きは鈍かった

### ○ 畜産

- ・ 8月通して牛肉焼肉用の動向が良かった。特に味付け焼肉用の動きが夕方中心に良かった
- ・ お盆商戦後から豚肉の動向が、切り落としを中心に良かった
- ・ 鶏肉は、相場安の影響でもも肉を中心に販売しやすく、動向も良かった
- ・ 加工肉では、フランクフルト、ウインナーの動きが良かった

### ○ 惣菜

- ・ 二の丑当日は、国産うなぎの動向が大変良かった
- ・ 野菜の高騰に伴い、カットサラダ、ポテトサラダなどサラダ類が好調に推移した
- ・ お盆期間中には、おつまみ商材（枝豆、やきとり、フライ など）の動向が良かった
- ・ フライ類は、家庭での調理を控えたせいか、フライ、揚げ物の動向が良かった

○ 日配・加工食品

- ・盛夏商材のアイスクリーム、冷麺、飲料などが好調に推移した。中でもスポーツドリンクの動向は良かった
- ・前半の気温上昇により、涼味商材中心に冷やし中華、そうめん、ひやむぎなど麺類の動向が良かった
- ・パン類は気温の上昇や値上げなどにより動きは鈍かった
- ・即席麺の動向が良かった影響でカップ麺の動向が伸び悩んだ
- ・下旬では、おでん、うどんなどの温商材の動きが良かった

○ 「お盆商戦」について

- ・花卉類の動向は良かったが、おはぎ、煮物の動向は伸び悩んだ
- ・天ぷら盛り合わせ、オードブルの動向は鈍かった

○ 「サマーギフト」について

- ・高温の影響で、涼味商材（そうめん、飲料、ゼリー、水ようかん など）の動きが好調だった
- ・低単価商品の動向が良かった
- ・果物のギフトが好調だった（スイカ、もも、メロン、梨、巨峰、マスカット など）
- ・コーヒー、調味料の動向は伸び悩んだ

○ 「防災関連」について

- ・お盆商戦終了後、防災企画を展開実施した。おかゆやレトルト商品に加え、さばの缶詰の動きが、テレビで放映後一段と良かった
- ・カンパンや非常用トイレ、懐中電灯、電池など動向は鈍かった。一昨年の大震災以降に購入した防災食品は、賞味期限が近付きつつあるため、家庭内在庫の日付確認を促す必要あり

以上